



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'93 9月号



東豊田から貝化石発見

博物館の
調査活動から

■東豊田のポンプ場建設現場から写真のような多量の貝化石が見つかりました。平塚の平野からこのような多量の貝の化石が発見されたのは初めてのことです。貝の化石は14～25mほどの地下の地層から見つかり、縄文時代のはじめ頃（約8000～6000年前頃）生息していた貝と考えられます。当時、この付近が浅い海であったことが裏付けられたことになります。

■貝は35種類以上に及び、開けた湾の外側にすむワスレガイ・チョウセンハマグリ・ダンベイキサゴ・サトウガイ・ヒナガイなどと内湾にすむヒメカノコアサリ・サクラガイ・ウミニナ・マガキなどが、いり混じっています。たくさんのサクラガイが生息する浜だったようです。貝を含んでいる地層は微細砂～砂混じりの泥からなっています。現在の平

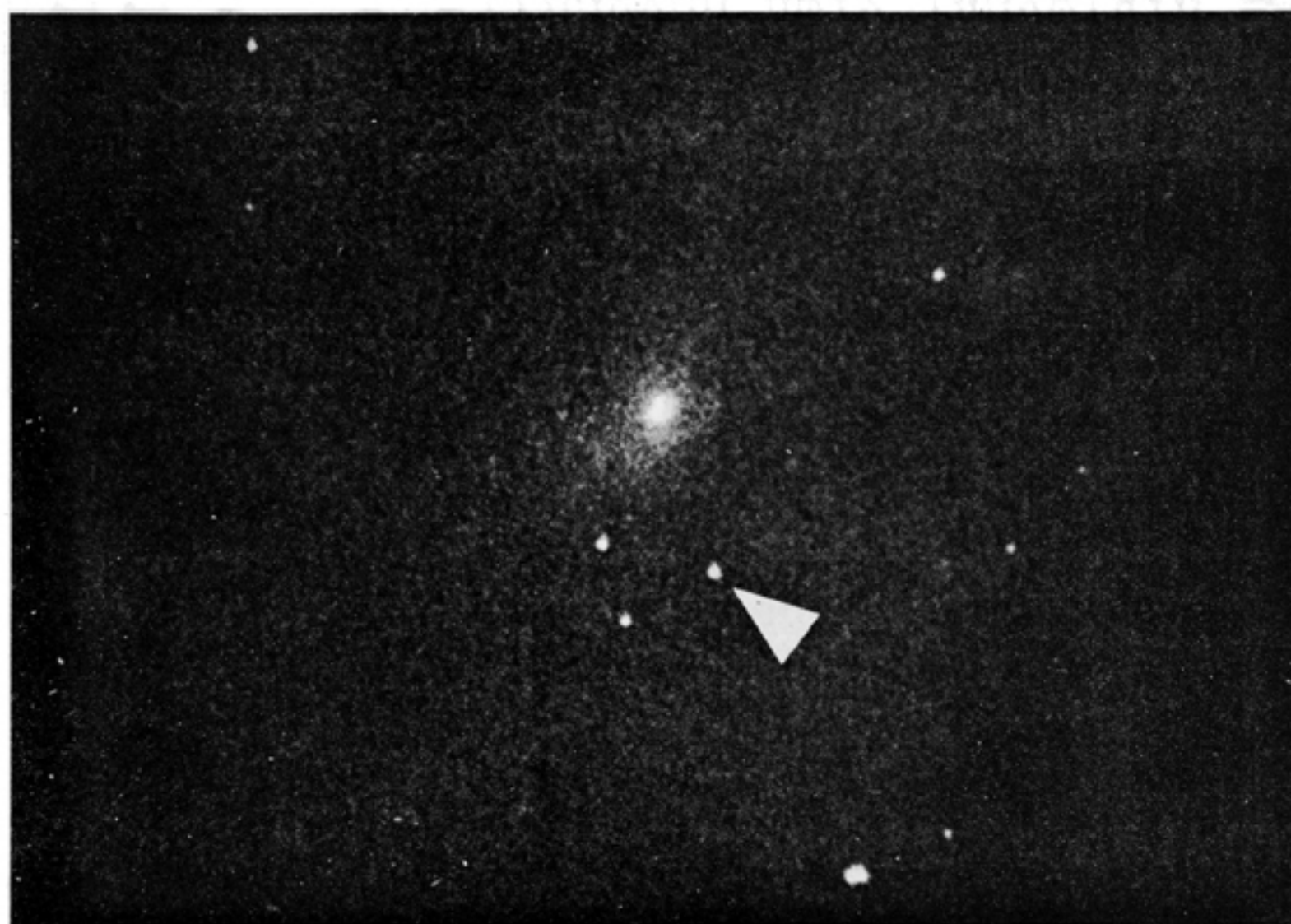
塚海岸に打ち上げられている貝と同じ種類の貝をたくさん含んでいます。化石とはいえ、色も現在生きているものとかわらないくらいよく残っています。

■ただ、これらの貝の化石が建設工事現場のものではなく、工事現場から運ばれた土の中から見いだされたので、上下にどのように貝の種類が異なるのか、すなわちどのように環境が変化していったのか、細かく知ることはできません。おそらく、内湾から開けた海になり、また内湾になって埋め立てられていったものでしょう。いずれにしても、ほとんどが潮間帯～水深20m程にすむ貝ですので、海岸線に比較的近い場所であった事でしょう。

なお、この貝化石の情報提供・収集にあたっては、㈱地崎工業・市道路建設課にたいへんお世話になりました。

星の一生 Part IV

9月11日~
11月14日



■星の輝きは太古より不変のもの、星たちはわたしたちの次元を超えた永遠の存在とも見えますが、実は、星にも寿命があります。

▲星の最期の輝き
(1993. M81の超新星)

■星はなぜ光っているのか、といえば、これは星を作っている水素ガスが、星の内部で核融合という反応を起こしているからで、そのときに発生するエネルギーが光となって外に放出されているのです。この反応で水素はヘリウムという別の物質に変わります。そこで、自分の水素をぜんぶ使いはたしてしまったら、それが星の最期となるでしょう。

■すでにたくさんの水素を使ってしまった星は、赤色巨星と呼ぶ大きな赤い色の星になっています。そして、なおも水素を使って輝き続けています。ところが、実際には水素を使い果たす前に星は最期をむかえます。

■「超新星」というのは、突然に明るい星が現われて輝き続け、やがてだんだん暗くなって消えてゆく現象ですが、これは大きな星が最後に爆発を起こして一生を終える姿です。そして、めったに見られないこの現象が、じつは、わたしたちのいる太陽系のなりたちにも深いかわりをもっていると考えられているのです。

■「星の一生 Part IV」では、星の最期を中心に、シリーズで紹介してきた星の一生についてまとめます。

第4回 平塚市博物館公募写真展 作品募集

— 変わりゆく地域の姿を未来に —

地域の自然や文化についての写真を募集します。入賞作品は特別展で展示するだけでなく、博物館資料として保存し、広く活用します。

■募集要項■

○課 題：「相模川流域の自然と文化」

相模川流域各地での生活の様子や自然の姿の写真を募ります。

(例えば、農業や漁業などの仕事の様子・祭や年中行事・台風や地震などの自然災害の記録・野鳥の生態・四季の草花など博物館資料として活用できる写真)

○募集期間：平成5年7月1日(木)～9月25日(土)

○応募作品：カラー写真・モノクロ写真・組写真のいずれかに題名をつけて、応募して下さい。

〈サイズ〉：キャビネ相当サイズ

〈撮影年月〉：撮影年月の明かな写真を希望します。古い写真も歓迎します。

〈応募点数〉：一人何点でもご応募ください。

○応募方法：応募票（博物館受付や写真店などにあります）に必要事項を記入し、作品を添えて博物館に郵送、またはご持参ください。

■秋期特別展 「第4回 平塚市博物館公募写真」展■

○期 日：平成5年11月9日(火)～12月12日(日)

○会 場：博物館 特別展示室

プラネタリウム利用案内

投影日： 毎週 土、日曜日

投影時刻： 1回目 11:00、2回目 14:00

観覧料： 100円

定 員： 86名

★途中入場はできません。

★土曜の11:00の回は団体予約を受け付けています。詳しくは博物館までお問い合わせください。

★観覧券は1階受付でお求めください。売り切れの場合はご了承ください。

博物館カレンダー

9月の行事予定

4	土	土曜観察会（自然の新聞作り）
5	日	古代遺跡を探索会
9	木	石仏を調べる会
11	土	古文書講読会 漂着物を拾う会
18	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 土曜観察会（万田）
25	土	古文書講読会
26	日	相模川の生い立ちを探索会 （南原）

10月の行事予定

2	土	土曜観察会（前鳥神社）
8	金	星を見る会（土星を見よう）
9	土	古文書講読会 漂着物を拾う会 天体観察会（土星・二重星）
14	木	石仏を調べる会
16	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
23	土	古文書講読会 土曜観察会（自然の新聞作り）
24	日	古代遺跡を探索会
28	木	石仏を調べる会
31	日	相模川の生い立ちを探索会 （まとめ）

■土曜観察会「自然の新聞作り」■

開催日：9月4日（土）

時 間：14：00～

持ち物：筆記用具、下敷き

■土曜観察会「ヒガンバナの土手」■

開催日：9月18日（土）

時 間：14：20頃～

参 加：自由 下記交通機関を利用、もしくは現地集合

持ち物：筆記用具、B5版紙ばさみ、虫めがね、持っていれば双眼鏡、交通費

備 考：平塚駅北口バスターミナル ⑫番線

湘南平行き 14:00発

上万田下車 14:20頃

雨天中止（確認は当日12：00

以降に博物館に電話で）

■漂着物を拾う会■

開催日：9月11日（土）・10月9日（土）

時 間：9：30～15：00

場 所：平塚海岸

参 加：自由（花水川河口石碑前集合）

備 考：曇・雨天時中止

■星を見る会「土星を見よう」■

開催日：10月8日（金）

時 間：19：00～20：30

場 所：屋 上（科学教室集合）

参 加：自 由

備 考：曇・雨天時中止

8/1～9/19 寄贈品コーナー「公募写真展」

9/23～10/15 寄贈品コーナー「博物館実習」

10/16～10/30 寄贈品コーナー「原口遺跡展」

7/17～9/5 グラセリウム「生命の星の条件」

9/11～11/14 グラセリウム「星の一生 Part4」

『あなたと博物館』 18巻2号 通巻200号 ©3000 発行 平塚市博物館

〒254 平塚市浅間町12-41 TEL(0463)33-5111 FAX(0463)31-3949